

令和5年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	20	議席 番号	9	氏名	稲葉晃司 議員	1 / 1
発言項目		要 旨				答弁者
1	富士宮市の農業について ～SAY 農 2023 その1～	<p>(1) 富士宮市では令和5年3月をもって市内全地区の「人・農地プラン」の実質化を達成した。話合いやアンケートの結果から、地域によって課題は様々あるものの、耕作者が高齢であり、担い手が未定の圃場や耕作放棄地化する可能性に触れている点が気になる点がある。「人・農地プラン」に位置づけられた中心経営体は様々な支援制度を活用できるとあるが、「人・農地プラン」で挙がってきた諸課題のどの程度をカバーすることができるのか。また、カバーしきれないものについてはどのように考えるのか。</p> <p>(2) 農林水産省から2050年を目標に、みどりの食料システム戦略が打ち出された。有機農業の取組面積25%、化学農薬使用量50%低減等があるが、富士宮市としての取組を今後どのように進めていくのか。慣行農法派及び有機農法派と大きく分類した際に、それぞれどのように働きかけていくのか。</p> <p>(3) 児童生徒は、富士山学習を通じて、地域の農家の方たちから農業について学ぶ機会はあるが、スマート農法について学ぶ機会はあるのか。</p> <p>(4) 農家の方たちからよく聞く意見の一つに、「国や県の農業に関わる補助金は数多くあるものの、とにかく申請手続きが面倒でわかりにくい。」といった声をよく耳にする。農業政策課の窓口での対応は、どのようにされているのか。</p> <p>(5) 新規就農のこれまでの取組とその成果について、思い描いたとおりの結果が得られたのか。</p>				市長 副市長 教育長 関係部長
2	富士宮市常備消防の強化に市民、消防団及び消防職員が納得できる環境づくりを望む	<p>令和4年の救急出動件数6,276件は、前年比1,020件の増加であった。市内の東分署、芝川分署及び上野分署は優先出動が解除されていないが、なぜ今日まで優先出動が解除されない状態に来てしまったのだろうか、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 常備消防の職員数を192人により、優先出動が解除され、市民の救命率の向上や火災に対してスピーディーに対応できると考える。現状では非番の職員を呼び上げて対応することからも職員の負担軽減も考慮すべきであると考えているが、市の考えについて伺う。</p> <p>(2) 常備消防の強化により消防団の負担軽減にも大きな効果が見込めると考えるが、市の見解を伺う。</p>				市長 副市長 関係部長
3	富士宮市の文化芸能の向上について	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症の影響により、市民の文化芸能に関する活動はどのようになったのか。交流センターや公民館でのサークル活動など、会員数の減少に苦悩する声があるが、市内の実態はいかがか。</p> <p>(2) 富士山学習の中で、文化芸能に触れる機会を増やし、児童生徒の感性を磨く機会を作ってみてはいかがか。</p>				市長 副市長 教育長 関係部長